

発行所 愛媛県喜多郡 長浜町役場 印刷所 岸本印刷所

七月一日から施行されている よつばらい防止法

よつばらい追放運動

お酒の功罪については、申し上げるまでもなく御承知のことと存じますが、わが国は俗に「酔っぱらい天国」と云われるほど、酔っぱらいの行為が許され、酒を飲めば酔っぱらいになるのが常である。...

第十三回

「人権週間」にあたって

松山地方事務局

十二月十日は、今から十三年前の十一月三日、第三回国連総会において世界人権宣言が採択され、全世界に向けて宣言された世界人権宣言の記念日に当ります。

我が国の憲法には「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由および幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り立法の専らに委ねられる」との原則が定められており、国家がこれを保障する義務を負っている。...

○本年六月末までに泥酔者として警察に保護された者 六四〇名

○本年四月から七月までに料飲店で飲酒のうえ店内やその付近で犯罪を犯した者 三三三名

○本年六月末日までの酔っぱらい防止法による交通事件の発生 六七七件

○本年六月末日までの酔っぱらい防止法による被害者 百五十三名

○本年六月末日までの酔っぱらい防止法による被害者 百五十三名

○本年六月末日までの酔っぱらい防止法による被害者 百五十三名

○本年六月末日までの酔っぱらい防止法による被害者 百五十三名



年賀郵便特別取扱 15日～28日

「わかったよ わかったよ 書きますよ」

「わかったよ わかったよ 書きますよ」

「わかったよ わかったよ 書きますよ」

「わかったよ わかったよ 書きますよ」

「わかったよ わかったよ 書きますよ」

「わかったよ わかったよ 書きますよ」

任意加入のおすすめ

任意加入の方々は、とくに任意だから加入しないという考えは、現在を中心とする考え方から加入してはいけない人がまだ若干残っています。

任意加入の方々は、とくに任意だから加入しないという考えは、現在を中心とする考え方から加入してはいけない人がまだ若干残っています。

任意加入の方々は、とくに任意だから加入しないという考えは、現在を中心とする考え方から加入してはいけない人がまだ若干残っています。

任意加入の方々は、とくに任意だから加入しないという考えは、現在を中心とする考え方から加入してはいけない人がまだ若干残っています。

任意加入の方々は、とくに任意だから加入しないという考えは、現在を中心とする考え方から加入してはいけない人がまだ若干残っています。

任意加入の方々は、とくに任意だから加入しないという考えは、現在を中心とする考え方から加入してはいけない人がまだ若干残っています。

国民年金

国民年金の御主人は銀行にお勤めでした。給料袋を見ると、健康保険と並んで厚生年金の保険料という名目で控除されている。...

国民年金の御主人は銀行にお勤めでした。給料袋を見ると、健康保険と並んで厚生年金の保険料という名目で控除されている。...

国民年金の御主人は銀行にお勤めでした。給料袋を見ると、健康保険と並んで厚生年金の保険料という名目で控除されている。...

国民年金の御主人は銀行にお勤めでした。給料袋を見ると、健康保険と並んで厚生年金の保険料という名目で控除されている。...

国民年金の御主人は銀行にお勤めでした。給料袋を見ると、健康保険と並んで厚生年金の保険料という名目で控除されている。...

国民年金の御主人は銀行にお勤めでした。給料袋を見ると、健康保険と並んで厚生年金の保険料という名目で控除されている。...

前納には次の二つの方法があります。

前納には次の二つの方法があります。

前納には次の二つの方法があります。

前納には次の二つの方法があります。

前納には次の二つの方法があります。

前納には次の二つの方法があります。

前納には次の二つの方法があります。

是非参加して下さい 産業研修会へ

是非参加して下さい 産業研修会へ

是非参加して下さい 産業研修会へ

是非参加して下さい 産業研修会へ

是非参加して下さい 産業研修会へ

是非参加して下さい 産業研修会へ

是非参加して下さい 産業研修会へ

二等陸海空自衛官募集

二等陸海空自衛官募集

二等陸海空自衛官募集

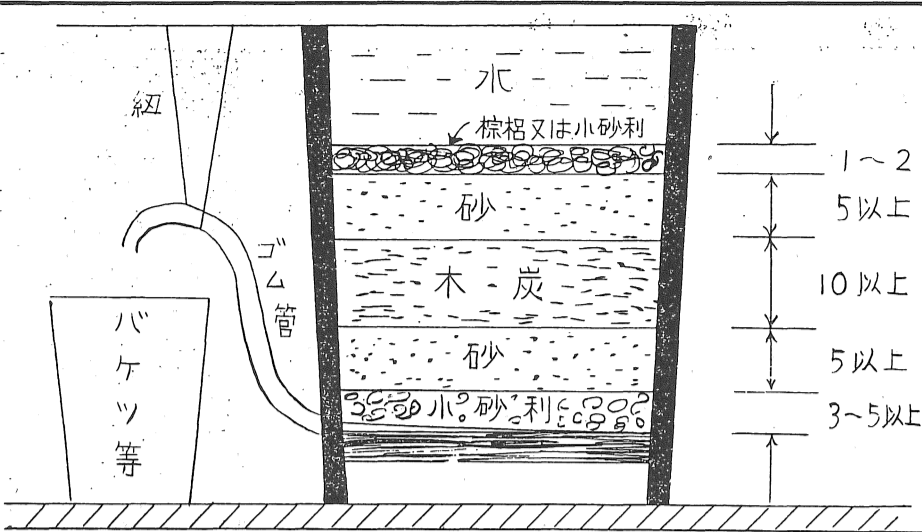
二等陸海空自衛官募集

二等陸海空自衛官募集

二等陸海空自衛官募集

二等陸海空自衛官募集

### 放射能対策 雨水、川水などを 飲料水にするには



最近放射能の含まれた降  
雨が各地に見られており、  
本県においても、十月二十  
六日夜半の降雨より一四〇  
カウントを検出しておりま  
すので、天水や流水などを  
そのまま使用しておられる  
場合には、ろ過槽を使用し  
又、天水の場合は、降雨当  
初の取水は捨てるようにし  
て下さい。

尚、家庭用濾過槽の作り  
方は、左記の通りです。参  
考にして下さい。

【作り方の一例】

▼家庭用濾過槽の作り方

(1) 容器  
ドラムかん、又は四斗たる  
の桶状の容器のフタを打ち  
抜いたものを使用する。

(2) ろ過水の流出孔  
桶の底部にあなを明け、木  
のくた、竹のくたなどをは  
め込み、これにゴムくたを  
図の如く取り付ける。

(3) ろ材  
図の如き順序にろ材を濾過  
槽の中に入れる。

A 小砂利 径一〜二cm  
のものでよいが小さい方  
が望ましい。よく洗った  
ものを使用する。

B 砂 水洗いをし、ド  
ロを落して使用する。

C 木炭 吸着してい  
る物質を除去するため  
一度火を起こして赤くな  
ったものに水をかけて消  
炭とし、粉砕して大きき  
一cm以下位にして、一度  
水洗いして使用する。活  
性炭を使用すれば一層効  
果がある。

D 上層の棕梠又は小砂  
利は、水を入れた時に下  
の砂層が攪乱しないよめ  
のものである。

▼濾過槽の使用法

(1) 原水を槽の上部より静  
かに流し込んで槽に充す。

(2) 濾過の速度は、濾過効  
果に大なる関係があるから  
次ぎの標準より速度が大き  
くならないようにゴムくた  
の高さを調節する。

四斗たる(上部の直径約

五四cm)の場合、一斗(約  
一八ℓ)の水が一時間かゝ  
つてろ過されるようにする  
(濾過速度二、五m/日)  
60分×(0.13m/日×4斗)の有効断面積) = その容器に  
対する1斗の水の濾過時間(1分)

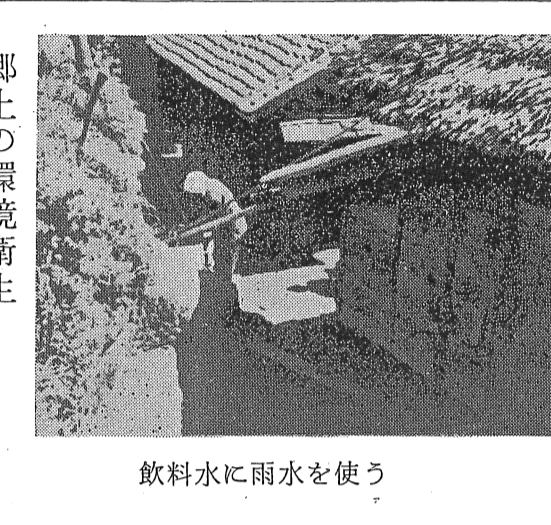
## 第七回 農林水産物品評会

(映画にも招待します)

品評会の日時を左記の通り決定しました。皆様の御  
協力を御願いたします。尚最近の農業情勢の変化に伴い  
品評会の内容も多少変更します。長浜町として今後益  
々奨励をするもの、重要な産物、家庭の必要生産物等  
に重点を置き、雑多なものを一部除きました。くわし  
くは規定を回覧しますから読んで下さい。

又出品者には映画への招待をします。(十四日は表  
彰式当日一日のみ) 家族そろって参観し楽しい一日を  
過して下さい。

◎十二月十一日(月) 出品物集荷  
◎十二月十二日(火) 出品物搬入、陳列、審査  
◎十二月十三日(水) 一般参観、抽籤、販売予約受付  
◎十二月十四日(木) 午前中一般参観、抽籤。午後一  
時より三時まで即売会、表彰式  
は午後(映写中間)



飲料水に雨水を使う

## 日本のチベツト

(中学生の作文より)

日本のチベツトと特殊な  
名で言われている岩手県北  
部の山間部、半農半林業で  
生活のすべてをたてている  
私の住む土地、他の地方に  
は見られない生活の中の一  
和(かず)! 大屋さんの家へ

行つて水を貰つて来い!!  
と父の大きな声にどなられ  
て、どんな雨の中でも天秤  
棒と桶を持って外に飛び出  
し、八〇メートルくらい離  
れている大屋さんの家へ行  
つて小さい声で「水を下さ  
い」と言つての間に父は私  
の係みたいなものとどつて  
しまった。

部落の戸数八〇戸、その  
うち井戸のあるのは五戸だ  
けで井戸の少ない部落です  
飲み水や洗い水は、山から  
流れる水が各戸の家の前に  
流し、それを利用していろ  
ろです。

もし雨が降りそうな時な  
どは、「この家でも一家総  
出で、それ!今の間に水を  
くんでおけ!!」とバケツや  
桶を持ち出し流れ水の方へ  
殺到、ジャブ〜ガブ〜と  
少しづつ水の海はそんな  
まよにして二、三日ため  
おき、その水を少しづつ使  
つていく状態。父母は「川  
の水は三寸流れるとキレイ  
なんぞ」と常日ごろ言  
つてはいるが、はたして砂  
まじりの濁つた水はそんな  
ものだろうか。

何かに対する負け惜しみ  
のような言葉にも私は感  
じられるが……

飲み水、洗い水とする流  
れ水も川の上の方で伝染  
病でも出たら、川下では一  
体どうなる事であろう……  
思つただけでも恐ろしい気  
がする。

私はこの間の晩、父に「  
なあ、おとう、どうしてこ  
の村には井戸が少ないんだ  
?」と聞いたら「うらん、  
井戸を掘らなくとも、流れ  
の方がキレイで冷たいから  
なあ!」と父の返事。  
「でもよ、今も川上の方  
で伝染病でも出たら、川下

## 優良日本犬(天然記念物)

|| 初 || 潮 || 号 ||  
飼主 (長浜町大字今坊 中見富三郎)  
日本犬保存会本部賞受賞



の方ではみんな困んのでは  
ないのか?」と言つたら  
父は「うらん、うらん、それも  
そうだけなあ、井戸掘る  
にあ、なにせ銭(ぜに)がか  
ゝるでなあ……」と、たゞ煙  
草ばかりすつて力なく答え  
た父、まだ水道を見た事が  
ない父、まだ父母、私を始め  
多くの子供を育てるために  
も、年中山の中にはいつて  
大屋さんの焼子になつて炭  
焼きをし、時々少しのお金  
を大屋さんから貰つて家に  
帰つて来る父や母、炭の粉  
や日焼けで黒くなつた顔や  
手は、いつキレイになる事  
だろうか……

おそろく生涯とれないで  
あるう、あの炭の粉……  
生活に追われ通して、本  
当に井戸を掘ることが出来  
なく、また一生水道さ見え  
ることが出来ず、日本のチ  
ベツトと云われる山の中で  
一生生きなければならな  
い不幸な父母……

しかし、このような事は  
井戸だけでなく、他のいろ  
いろな事柄が都会の人達に  
は想像も出来ない生活の中  
で生きていく私たちが……

私はこのような事と思つ  
た時に「よし!このような  
悪環境の中にも決つし  
て負けはせぬ!

私たちは一歩一歩環境の  
中の小さい事から改良して  
行こう!」という気持ちさ  
えあるならば、金は無くとも  
いつかはきつと、この日  
本のチベツト地帯にも明る  
い生活の来るであろう日を  
思つて黒い父の手を見つめ  
て奮わっていた事に悩み

## 長浜仏教会より 年末たすけあい運動 基金寄託

長浜仏教会に於いて皆様  
の御協力を得て実施されま  
す。厚く御礼申し上げます。

## 青少年保護育成運動に ちなんで

よりよき未来への前進の力を  
歴史的偉人の青春期に探る

## 吉田松陰

小さい時から秀才のはま  
れが高く、その家をつげ  
ば将来も保証されている  
習いたいものは何でも勉強  
することが出来た。儒教、  
兵学、馬術、槍術、砲術と  
あらゆるものを習つて、長  
崎という当時の一番新しい  
街の文化にもふれてきた。  
そして、いま江戸で最後の  
学問の仕上げにいそしんで  
いる。

二、三年もしたらみんな  
の待つている故郷に錦を飾  
ることが出来るのだ。兵学  
を教える叔父の家をついだ  
松陰、吉田寅次郎の若い青  
春は何一つ心を乱すものが  
ないようであつた。「詩歌  
茶湯、棋、書画、印、立花  
能、謡、浄瑠璃、あゝ陋な  
る哉厭うべし厭うべし」と  
いうような彼には、その方  
面にうつつをぬかして借金  
に首が回らなくなるとい  
うこともなければ、恋愛に心  
を奪われていたすに悩み

した托鉢により得られまし  
た浄財一五五円也を「年  
末助けあい運動」の一助と  
して役場厚生課社会係へ寄  
託されましたので、有難  
く頂戴致しました。紙上より  
厚く御礼申し上げます。

## 出生と死亡

出生  
本庁  
二宮 善久 長男 由勝  
徳用登三郎 長女 浩司  
井伊 敬一 長男 智子  
山本 守三 長男 勝  
播磨 宗清 長男 祐一  
堀内 裕治 長女 裕美  
久保 政長 長男 裕美  
西浦 重一 長女 裕美  
鎌田 忠二 長男 俊治  
長岡 重良 長女 俊治  
菅用 勇雄 長女 俊治  
渡辺 敬二 長男 淳子  
亀用 浩己 長男 修  
後藤 和男 長男 松生  
菊地 末長 長女 佐代子  
上田 関夫 長女 千代子  
小川 政雄 長男 育子  
宮本 高義 長女 幸雄  
柴原 博精 長男 幹子  
仲尾 長栄 長男 幸雄  
谷井 裕 長女 美千代  
高橋 一高 長女 千奈美  
大本 敏史 長女 生美  
柴用 福見 長女 さゆり  
宮田 茂一 長男 幸喜  
田丸 一郎 長男 直人

死亡  
本庁  
西村 鈴吉 白滝  
佐伯ヨリシ 白滝  
二宮マサノ 白滝  
岩井 忠志 大和  
新 類蔵 大和  
今村 早苗 大和  
岩田 寅男 大和  
上野 栄 喜多灘  
後藤シゲヨ 喜多灘  
大西 政夫 喜多灘  
沢井 寅市 喜多灘

家の学問に疑いを抱き、そ  
れから一歩外にふみ出そう  
というのだから無理もない  
ことだつた。では二十二才  
の松陰は、その悩みをどう  
して踏み越えようとしたか  
それがいかにも松陰らしい  
のだが、一挙に亡命の罪を  
犯すことによつて解決しよ  
うとしたのだ。彼は藩の許  
可を得ないで突然、友人と  
東北旅行に出立した。あと  
で静かに考えると、その行  
為は「どうも少し子供じみ  
た浅い考え方だつた」と  
反省されたりするのだつた  
が、そのときは大いに意気  
が上つていたのである。そ  
して、それによつて遂に  
彼は家を追われて浪人する  
ことになるのだ。家の学問  
から解放されたのは言うま  
でもない。彼が本心に自由  
に勉強出来たのはそれから  
であつた。そうして得た彼  
の学問は、あの幸福な時代  
に学んだものとは比べもの  
にならない深さと重みを持  
つていたのである。

◆ 吉田松陰(一八三〇—  
一八五九) 幕末の志士にし  
て教育家。天保元年八月四  
日長門(山口県)萩城の東  
松本村に生まれた。名は矩  
方、字は子義または義卿、  
松陰など。五歳のとき叔父  
吉田大助の養子となり山鹿  
流兵学師範をついだ。父の  
末弟玉木文之進の教化を受  
け、二十二歳のとき江戸で  
佐久間象山に師事した。嘉  
永六年六月六日ペリーの来  
日に刺殺され、象山とはか  
つて海外に出ようと思し、  
安政元年三月下用に停泊し  
ていた米艦に上つたが断わ  
られ自首してバク(縛)に  
ついた。松陰と号したのは  
その獄中から。安政二年十  
二月出獄同四年十一月に杉  
家の宅地内に「松下村塾」  
をひらき門人をとつた。安  
政五年井伊大老の強硬政策  
の非をならし、尊王倒幕、